

愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

病院長名 度会 正人

所在地 〒446-8602
愛知県安城市安城町東広畔28番地

交通案内 JR「安城駅」または名鉄「新安城」から
名鉄バス「安城更生病院」行き乗車
(JR安城駅からは市内循環バスもあり)



病院の特徴

当院は愛知県西三河南部西医療圏に属し、病床数・医師数・救急症例数ともに多く、救命救急センターの指定を受ける3次医療機関です。80年以上の歴史をもちながら、常に新しいことに取り組む気風あふれた病院です。熱意ある指導医も多く、また病院全体として教育へのコンセンサスが得られており、病院を挙げて優れた医療人を育てようという雰囲気があります。

その他、当院には救命救急センターをはじめ、総合周産期母子医療センター・地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・地域中核災害拠点病院などの機能を備えており、地域の中核病院としての役割を担っています。

研修の特徴

1974年から2年間のローテート研修を行ってきた実績を持ち、新医師臨床研修制度の基本形態をすでに安定したかたちで提供しています。また、臨床教育を通じ、専門領域以外に無関心な医師となることなく、患者を全人的にとらえることのできる真に優れた医師を育てたいと考えています。研修医は救急などのプライマリ・ケア領域で早い時期から主体的に活動します。

当院での研修の特徴としては、1)豊富な症例・手技を経験できる。2)研修医個々の希望でローテートをアレンジできる。3)ERが充実している。4)地域医療研修が充実している。5)ICLSを院内で受講できる。6)各科の垣根が低い。7)メディカルスタッフが非常に協力的である。などが挙げられます。

その他、救命救急センター、循環器センター、新生児センター、周産期センターなどの高度医療機能を備え、三河地域広域より多数の救急入院患者を豊富な症例を経験することができます。

【臨床研修の理念】

地域社会および当院から求められる医師像を意識しつつ、将来の専門分野によらず全人的医療を行えるたくましい医師となることをめざす。



メッセージ

指導医 (副院長 新井 利幸)

当院は、救命救急センター・総合周産期母子医療センター・地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・地域中核災害拠点病院として、プライマリ・ケアから高次の診療機能まで、初期臨床研修の場として十分な診療体制を持っています。教育研修センターをはじめ、すべての診療科・すべての医療ス



タッフ・同僚の研修医仲間が臨床研修を支えています。当院初期研修で実力をつけた医師のほとんどが当院の専門研修に進み、診療・後輩指導の大きな担い手となると同時に、その活気と明るさで当院全体の雰囲気をつくってくれています。

当院で多くの先輩医師に接して、将来の自分の医師像を描いてください。

研修医 (1年次研修医 小林 靖長)

まだまだ覚えることばかりですが、とても充実した毎日を送っています。同期は愛知県内外いろいろなところから集まっており、出身大学に関係なくすぐに仲良くなれました。当



院での研修にすこしでも興味がある方は、ぜひ一度見学に来てください。必ず当院の充実した研修環境や雰囲気の良さを感じていただけたと思います。一緒に安城更生病院で充実した研修生活を送りましょう!!一緒に動ける日がくるのを楽しみにしています!

募集要項

採用実績	2021年度 19人 ・ 2022年度 18人
給与/月額	1年次 335,000円 ・ 2年次 370,000円 (※手当含まず)
当直回数/月	4回
当直料/回	1年次 20,000円 ・ 2年次 35,000円
その他	学会・研修会への参加可、助成制度有、研修医宿舎有
応募連絡先	担当者 三井 千鶴
	電話番号 0566-75-2111 (内線: 3247)
	Eメール kyouiku@kosei.anjo.aichi.jp